

第三者被害防止対策及び点検のあり方検討WGの設置について

1 位置付け

付属物も含めた膨大な資産と進展する老朽化に対する安全・安心の確保への対応策をNEXCOで原案を作成し、長期保全等検討委員会の提言に盛り込む。

2 目的

付属物も含めた高速道路資産の進みゆく老朽化に対して、安全・安心を確保しつつ、資産を健全な状態に確実に保全していくために、点検から補修のサイクルの再構築を図りつつ、第三者被害防止としてのフェールセーフの一層の充実や経過更新という新たな概念の適用の検討を行うとともに、本線構造物、設備並びに付属物の点検における現状の課題を整理し、点検の信頼性向上等に向けた点検のあり方について検討するものである。

3 構成員

- NEXCO東日本(株) 管理事業本部
保全部長、施設部長、管理事業計画課長、保全課長、施設課長
- NEXCO中日本(株) 保全・サービス事業本部
担当部長、企画統括TL、保全TL、施設TL ※TL=チームリーダー
- NEXCO西日本(株) 保全サービス事業部
部長、保全サービス統括課長、保全課長、施設課長
- (株)NEXCO総研 管理基盤推進担当部長、施設研究担当部長

なお、WGの下部組織として、土木・施設分科会を設置し、それぞれ専門的見地から具体的な方針や対策案を検討する。

4 検討する上で前提となる事項

- 点検から補修までのサイクルがエンジニアによつて的確に実施される仕組み及びデータベースの再構築。
- 点検や補修及び第三者被害防止対策の確実性及び安全性を確保する設計思想の導入。

5 主な検討内容

- (1) 第三者被害防止
 - ① 付属物等のフェールセーフ等の対策の推進
 - ② 経過更新概念の導入
- (2) 点検のあり方
 - ① 点検目的の明確化
 - ② 点検実施基準の再設定
 - ③ 点検の信頼性向上

6 検討スケジュール(案)

- 平成25年4月以降 今後のWGにて
- ◆課題の整理
 - ◆対策方針の策定
 - ◆対策案の骨子の整理
- などについて検討を進める。

平成25年秋 長期保全等検討委員会の提言に検討骨子を報告(予定)